

4 月 21 日：VN 指数は狭いレンジで推移 (VN-Index -0.99%)

- VN 指数は方向感が定まらず、基準値付近で取引を開始した。
- 前場の取引終了にかけて売り圧力が徐々に強まり、指数はやや下落した。
- 後場には売り買いが拮抗した取引が続いた。2025 年第 1 四半期決算発表が始まり、市場がその情報を消化するのに時間を要するため、指数は今後のセッションでも横ばいの動きを続ける可能性がある。
- 金融サービス、日用品・一般消費財セクターが相場の重しとなった。一方、目立った上昇を記録したセクターはなかった。
- 181 銘柄が上昇、339 銘柄が下落、63 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 13.4%減の 18.6 兆ドンとなった。

VN30 指数は引けにかけて徐々に下落 (VN-30 -0.91%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 9 銘柄が上昇、19 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずとなった。
- 主な上昇銘柄は STB (+4.93%)、SHB (+2.72%)、TPB (+2.65%) だった。
- 一方、VIC (-6.96%) は引き続きストップ安となった。

セクター・個別株の動き

- 国家証券委員会 (SSC) は、市場活動に関する規制を修正・補足するための草案を最終調整していると発表。5 月上旬に予定されている KRX の正式稼動に合わせ、合理化されたプロセスで財務省に提出され、承認を受ける予定。
- MBB(-1.29%) は、最新の監査済み財務諸表によると、資本剰余金を活用し、定款資本の 1.6% に相当する 1 億株の自社株買いを行う予定。買い戻しは 2025 年から 2026 年にかけて、規制当局の承認を得た後、マッチング・オーダーによって行われる予定。
- 外国人投資家は、主に FPT (+0.09%) と VIC (-6.96%) を中心に 1,640 億ドンを買い越した。一方、HCM (-6.33%) は最も大きく売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。